

eviDaemon for PAdES

Ver.6 情報資料

2023.9

本資料はeviDaemon for PAdES Ver.5からVer.6への変更点のうち、特にご注目頂きたい点をピックアップして記載しております。

なお、バージョンアップ版は、ご契約のすべてのお客様にご提供可能です。ご提供に際し費用はかかりません。

※旧バージョンのサポート期間は次のとおりです。

Ver.4.6：2023年10月21日まで

Ver.5.0：2024年 1月29日まで

Ver.5.1：2027年 2月 7日まで



【お問合せ】

eviDaemonご契約済みのお客様：サービス開始時にお伝えしているサポートメールアドレス宛にご連絡ください。

eviDaemon未契約のお客様：HP上のお問い合わせフォームよりご連絡ください。

1. 注目の変更点



今回の変更のなかで、改善に伴い是非お役立ていただきたい変更点をピックアップしました。

※詳細(その他変更点のご説明含む)はv6ご提供時にお渡しするマニュアルに記載がされておりますのでご確認ください。

■コマンドラインツール 〈コンソールの出力変更〉

Before

実行時のコンソール



「標準・エラー」

を混在して出力

変更点

- INFOレベルの情報は、標準のみを出力
- ERROR/WARNレベルの情報は、エラーのみを出力

エラーのみを抽出できますので、監視がしやすくなりました。

〈同名ファイルのバックアップ世代数の変更〉

Before

ファイル処理時に移動先フォルダに同名ファイルがあった場合



バックアップ世代数「10」

変更点

バックアップ世代数 制限なし

バックアップ世代数とは…

例) ABC(株)請求書

ABC(株)請求書(1)

ABC(株)請求書(2)

ABC(株)請求書(3) …

これまでは同名ファイルがあった場合の保存は10ファイルまででしたが、その制限が無くなりました。

1. 注目の変更点



今回の変更のなかで、改善に伴い是非お役立ていただきたい変更点をピックアップしました。

※詳細(その他変更点のご説明含む)はv6ご提供時にお渡しするマニュアルに記載がされておりますのでご確認ください。

■コマンドラインツール 〈retryIntervalの追加〉

追加点

「サーバーの設定」で通信リトライを任意の秒数でかつ任意の回数設定することが可能

これまで通信リトライは、エラー発生後の5秒後に1回行うのみでしたが、任意の秒数で複数回のリトライが設定できるようになります。

※例：[2 seconds, 20 seconds] と設定→2秒後と20秒後に2回リトライ

これにより、サービス利用者側でエラー発生時の制御を詳細に行えるようになります。

〈errorCommandの追加〉

追加点

errorCommandを全てのコマンドで使用可能
また、文字列の指定が可能

これまでは一部のコマンドでしかできなかったエラー発生時に実行するコマンドの指定が全てのコマンドでできるようになりました。また、メッセージ送信時に任意の文字列を指定することができるようになりました。これにより、エラー発生時に運用管理ツール等との連携がより柔軟に行えるようになります。

1. 注目の変更点



今回の変更のなかで、改善に伴い是非お役立ていただきたい変更点をピックアップしました。

※詳細(その他変更点のご説明含む)はv6.1ご提供時にお渡しするマニュアルに記載がされておりますのでご確認ください。

■有効期限出力ツール 〈PDF以外のファイル対応〉

Before

PDF以外のファイルがあった場合



エラー

変更点

エラーとしない(処理が止まらなくなりました)

※有効期限リストファイルには該当ファイルが有効期限空欄で出力されます。

〈未署名のPDFファイル〉

Before

未署名のPDFファイルがあった場合



エラー

変更点

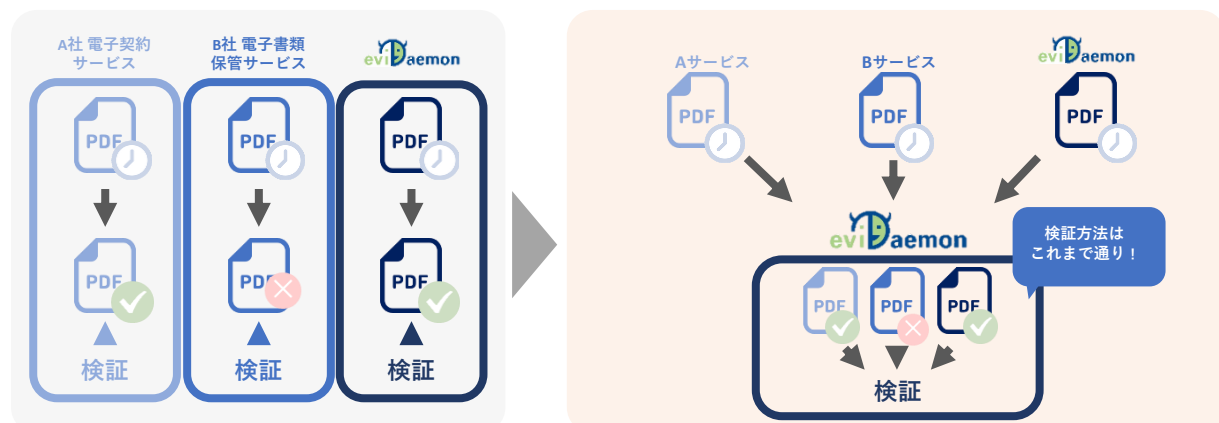
エラーとしない(処理が止まらなくなりました)

※有効期限リストファイルには該当ファイルが有効期限空欄で出力されます。

■他社署名/タイムスタンプの検証機能

追加点

一定の評価検証を行った他社のタイムスタンプ・電子署名サービスについてもタイムスタンプの延長サポート対象とし、永続的なデータ保全の支援を行います。



検証可能なタイムスタンプ、電子署名サービスを以下のWebページで公開しています。
<https://www.seikotrust.jp/repository/>

2. ご留意が必要な変更点



今回の変更のなかで、ご留意いただきたい点をピックアップしました。

※詳細(その他変更点のご説明含む)はv6ご提供時にお渡しするマニュアルに記載がされておりますのでご確認ください。

■コマンドラインツール 〈設定ファイルの変更〉

Before	変更点	
設定ファイル名 「cli-config.xml」	設定ファイル名 「evip-client.conf」	<ul style="list-style-type: none"> ・XMLライブラリのサポートが古くなったことに伴い、Json形式の取り扱いに移行します。 ・一部設定項目に追加・変更がありますので、マニュアルにてご確認ください。

■検証ツール(PdfSignTsVerify) 〈-xmlOutDirの変更〉

Before	変更点	
「-xmlOutDir」 (XML形式)	「-jsonOutDir」 (出力形式はJSON)	<ul style="list-style-type: none"> ・XML形式データの取り扱い廃止に伴う変更です。 ・検証結果がXMLではなくJSONで出力されますので、影響のあるお客様はご確認ください。

■トラストストア/中間証明書補完ファイルの変更

Before	変更点	
JKS形式ファイルで 管理	フォルダ・ファイル 形式で管理	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで使っていたファイルを展開して、v6のフォルダに配置していただく必要があります。 ・CA証明書を追加する際は、フォルダ (conf/trusted-local、conf/complement-local) に DER/PEM形式の証明書を配置してください。

SEIKO

セイコーソリューションズ株式会社